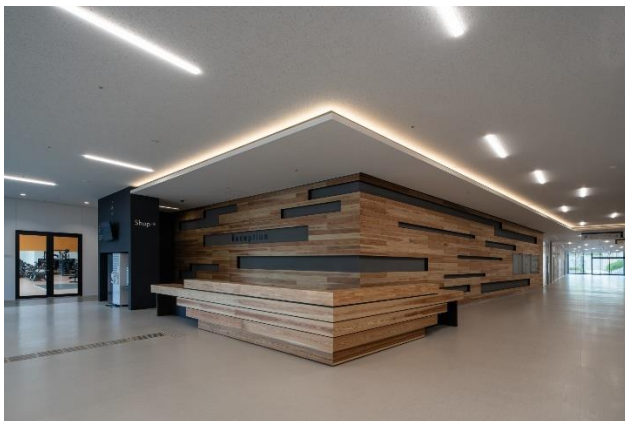


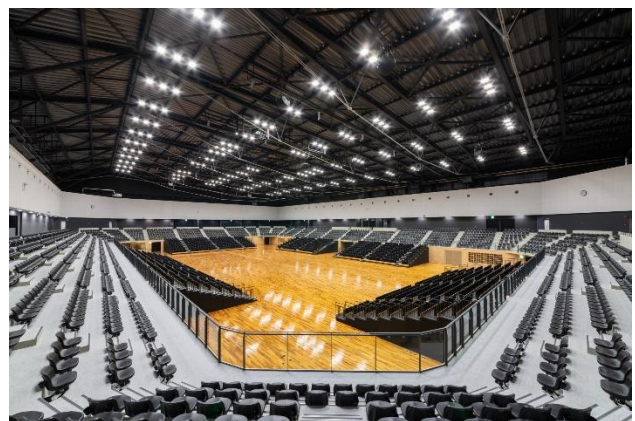
## 滋賀アリーナがオープン



滋賀アリーナの外観



エントランス



メインアリーナ

三菱HCキャピタル株式会社(代表取締役 社長執行役員:柳井 隆博/以下、当社)は、このたび、新たな滋賀県立体育館「滋賀アリーナ(愛称:滋賀ダイハツアリーナ\*1)」(以下、滋賀アリーナ)が完成し、2022年12月1日にオープンしたことをお知らせします。本施設は、当社(旧日立キャピタル株式会社)がコンソーシアムの代表企業として、2019年6月26日にPFI(Private Finance Initiative)\*2事業の総合評価一般競争入札にて落札、事業者に決定したものです。

本コンソーシアムでは、当社をはじめとする8社が特別目的会社(SPC)「しがクロス株式会社」(以下、しがクロス)を設立しました。しがクロスは、今後、14年4カ月間にわたり、施設の運営・維持管理を行います。

当社は、コンソーシアムの代表企業として、事業全体の統括マネジメントをはじめ、ファイナンシャル・アドバイザー業務やSPC事務管理業務を手掛け、民間資金の活用による滋賀県の財政負担の軽減に貢献していきます。

滋賀アリーナは、地上 3 階建てで、観客席約 5,000 席を備えたバスケットボールコート 3 面分の広さのメインアリーナのほか、観客席 200 席を備えたサブアリーナを有します。アリーナの床やエントランスには滋賀県産の杉を使用、施設内の案内看板も信楽焼で製作しています。

なお、メインアリーナは、バスケットボール B リーグの滋賀レイクスが本拠地(ホーム)として試合や練習に用いる予定のほか、2025 年開催予定の第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会においても、バスケットボールやバドミントン、体操の競技会場として使用される予定です。

当社は、「社会資本／ライフ」を注力領域のひとつに掲げ、不動産ファイナンス、事業運営、社会インフラ投資などを展開することで、地域社会が抱える課題の解決、豊かな暮らしの実現に取り組んでいます。今後とも、当社は、官公庁・自治体やお客さまとの連携、PPP\*3 および PFI のノウハウを生かしつつ、公共スポーツ施設をはじめとした文化・文教施設などのさらなる価値向上に貢献していきます。

\*1 滋賀県が公募したネーミングライツ契約により、使用される施設愛称。

\*2 PFI法に基づき、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う方法。

\*3 公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るもの。

## ■滋賀アリーナ施設概要

体 育 館	メインアリーナ：約 2,945 m <sup>2</sup> 、観客席 5,016 席(1 階席 2,516 席、2 階席 2,500 席) サブアリーナ：約 1,331 m <sup>2</sup> 、観客席 200 席
ス ポ ー ツ 諸 室	トレーニング室、健康・体力測定室、多目的室
そ の 他 関 連 諸 室	大会議室、小会議室(4 室)、健康・体力測定室、キッズルーム、授乳室など
多 目 的 広 場	約 8,000 m <sup>2</sup> (一部人工芝)

## ■コンソーシアムメンバーおよび主な役割

メンバー企業	役割および担当業務
三菱HCキャピタル株式会社	統括管理、ファイナンシャル・アドバイザー業務
株式会社梓設計、大成建設株式会社、滋賀県建築設計監理事業協同組合	設計
大成建設株式会社、株式会社桑原組、株式会社内田組	建設
株式会社梓設計、滋賀県建築設計監理事業協同組合	工事監理
株式会社ハリマビシステム、協栄ビル管理株式会社、西武造園株式会社	維持管理
ミズノ株式会社、南産業株式会社、ラグスタ株式会社	運営

## ■しがクロス概要

社 名	しがクロス株式会社
代 表 者	代表取締役社長 荒 健
本 店 所 在 地	滋賀県大津市におの浜一丁目 1 番 24 号
事 業 概 要	滋賀県新県立体育館整備事業により整備される施設の設計、建設、工事監理、開業準備、運営、維持管理の各業務ならびに付帯関連業務
資 本 金	50,000,000 円

以 上